

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	1単位 保育の本質・目的	子どもの虐待	鈴木 勲	2年次	春

授業のキーワード	子どもの虐待 虐待防止法 児童相談所・児童養護施設
授業の概要・目的及び修得させる知識・技能	子どもの虐待やマルトリートメントなど、不適切な養育環境の中にいる子どもたちの状況についての基本的な理解と対応策を検討していくことで、保育者としての資質を高めていくことを目的とする。
履修のアドバイス・前提科目等	講義を受けながら、受講者自身が見知を深められる時間を重視している。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	イントロダクション	講義の趣旨説明及びスケジュールの確認を行う。	第9講	虐待する親への支援	親子の分離と再統合について学ぶ。
第2講	日本の子ども虐待の現状	子ども虐待とは何か、定義と対応に関する基礎的な事項を学ぶ。	第10講	支援に役立つ具体的な技法を理解する	一時保護された子どもの支援のために開発されたソーシャルスキルトレーニング集を活用し、受講者自身が具体的な技法を体感する。
第3講	子ども虐待を扱ったビデオの観賞	映像データを活用しながら、虐待してしまふ保護者やその要因となる事柄について理解する。	第11講	子ども虐待防止をめぐる現代的な実践課題(1)	子ども虐待への援助の基本であるチームアプローチについて学ぶ。
第4講	子ども虐待はなぜ起きるのか	虐待を引き起こす四つの要素を学ぶ。	第12講	子ども虐待防止をめぐる現代的な実践課題(2)	ゲストスピーカーとして、最前線の現場で実践をしている児童福祉司もしくは児童相談員を招き、現代的な実践課題や仕事についての理解を深める。
第5講	子ども虐待と子どもの発達への影響	虐待が子どもの成長や発達に及ぼす影響について理解する。	第13講	子ども虐待防止と子育て支援について	現代家族の特質と子育ての困難さから子ども虐待防止に向けた取り組みを学ぶ。
第6講	子ども虐待への具体的な実践的支援(1)	虐待通告から具体的な介入方法、子ども虐待防止に関する法律について学ぶ。	第14講	授業のまとめと振り返り	本講義全体のまとめと振り返りを行う。併せて、定期試験もしくはレポート提出についての説明を行う。
第7講	子ども虐待への具体的な実践的支援(2)	児童相談所及び一時保護所の現状と課題について学ぶ。	第15講	定期試験もしくはレポートの提出	
第8講	子ども虐待への具体的な実践的支援(3)	被虐待児を受け入れ支援を行っている児童養護施設の現状と課題について学ぶ。	評価方法		出席60%、定期試験40%の配分とする。また、毎講義リアクションペーパーの提出を持って出席とする。講義を受けながら、自分の見知を深めていく作業を重視している。
備考 (関連する資格・試験等)	授業展開は予定であり、授業の進度などにより、内容などが変更される場合もある。				
使用する教科書(必ず購入してください)			参 考 文 献		
川崎二三彦『児童虐待－現場からの提言』岩波新書2006年			随時、授業中に紹介する。		